

人生色々 お天気色々



第11回 花の季節と春の嵐

四月から五月にかけて、平地の雪は消え、山々の雪も麓の方から少なくなり、道内は花の季節を迎えます。ドライブにもよい季節となってきました。

花の季節

長い冬が過ぎ、春の訪れとともに一斉に花が咲き出します。私が札幌に赴任していた二年弱の間、コロナ禍が継続中だったこともあり、札幌近郊を中心に花の季節を楽しみました。

まずはサクラ。札幌のサクラの名所と言えば、円山公園、北海道神宮、中島公園など多数あり、何回か足を運びました。農試公園もよかったです。足を延ばして、函館の五稜郭公園や静内の二十間道路桜並木にも行って見たかったので、残念ながら行けませんでした。札幌のサクラの見頃は、以前はゴールデン

ウィークだったのですが、ここ最近は何月下旬になることが多くなっています。気象台の観測記録を見ても、開花日の平年値は五月一日なのですが、ここ十年ほどは四月中に開花しており、特に昨年の開花は四月十五日と統計開始以来最も早くまりました。さて、今年はどうなるでしょう。ちなみに、札幌のサクラの開花や満開を観測する標本木は札幌管区気象台の構内にあり、隣の公園から花見をすることもできます(図1)。

本州ではウメが咲いてからサクラが咲くのですが、北海道ではほぼ同時期に咲きます。円山公園では梅林の周りに桜が植えてあり、ウメとサクラが同時に満開になっているのを見て、何か不思議な気持ちでした。平岡公園の斜面に広がった梅林もきれいでよかったです。

さて、五月に入るとライラック。あの独特の甘い香りが大好きです。気象台の構内にも咲いていましたし、通勤途中にも各所で咲いていました。ライラックをたくさん植えてある創成川沿いの散歩も楽しめました(図2)。

北大植物園に入ると様々な花が咲いています。特にツツジが見応えありました。両側を満開のツツジに囲まれた小径を通ると、何か華やいだ気持ちになります。

北大植物園に入ると様々な花が咲いています。特にツツジが見応えありました。両側を満開のツツジに囲まれた小径を通ると、何か華やいだ気持ちになります。



図1(上)／札幌のサクラの標本木(青木撮影) 図2(左下)／ライラックとさっぽろテレビ塔(青木撮影) 図3(右下)／天神山緑地の天神藤(青木撮影)

になりました。

フジも好きな花の一つです。前田森林公園のフジもよかったです。天神山緑地にある「天神藤」は圧巻でした(図3)。樹齢二百年を超える北海道最古の藤棚だそうです。

以上、私が行って印象に残ったところを挙げてみました。また、大通公園でも様々な花を楽しみました。もちろん私が行っていないところもたくさんありますし、皆さんそれぞれお薦めのところもあるでしょう。これからの花の季節を是非楽しんでください。

春の嵐

一方、この季節は、春の嵐に見舞われることもあります。ちょうど冬から初夏に移り変わる季節にあたるため、冬の名残の寒気と初夏の暖気がせめぎ合っています。このため、寒暖差をエネルギー源とする温帯低気圧が日本付近で急速に発達し、北海道に大荒れの天気をもたらすことがあります。

発達した低気圧が近づくと、天気が急変し、暴風が吹き荒れ、激しい雨や雹(ひょう)が降ったり、雷が落ちることもあります。また、寒暖差も大きく、低気圧の通過前には南風が強まり初夏の陽気どころか、場合によるとフェーン現象が三十度以上になることもあり、山の雪が一気に解けて融雪による洪水が発生